

研究所訪問

神奈川県温泉地学研究所

Hot Spring Research Institute of Kanagawa Prefecture

神奈川県温泉地学研究所(平野富雄 所長)(写真1)は日本の自治体では他に類をみない研究所で、昭和36年の発足当初からその内容には大変ユニークなものがあった。発足当時は神奈川県小田原市の小田原保健所内に併設された形で研究を行っていたが、その後、箱根町に新築された独自の庁舎に移転した。また、発足当初の名称は温泉研究所であったが、時代の変化とともに研究

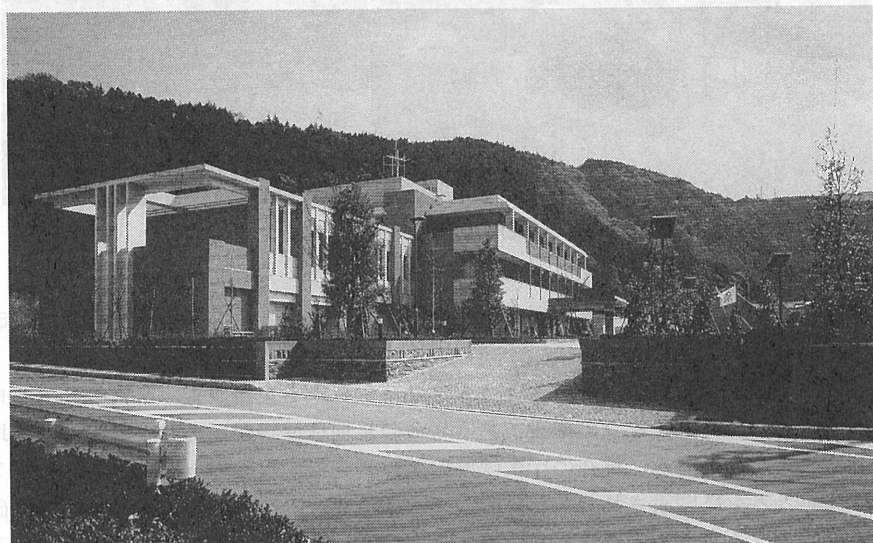
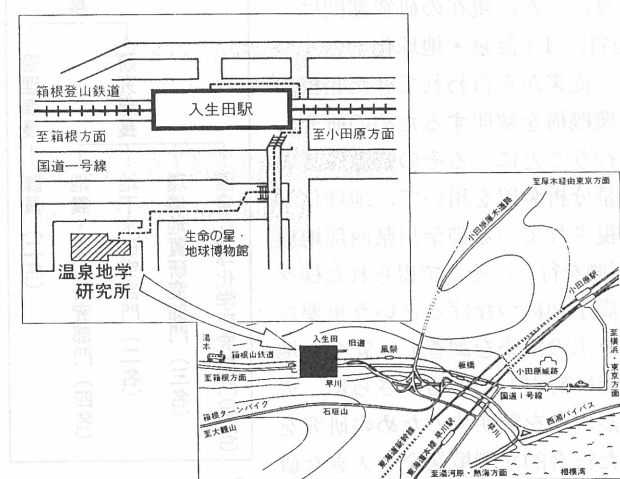


写真1 正門から見た研究所の建物(背後の山は箱根火山新規外輪山溶岩類)



研究所の名称および所在地  
 神奈川県温泉地学研究所  
 〒250 神奈川県小田原市入生田586  
 TEL 0465-23-3588  
 (見学：土・日・祝祭日・年末年始  
 (12/29~1/3)を除く、8:30~17:00)

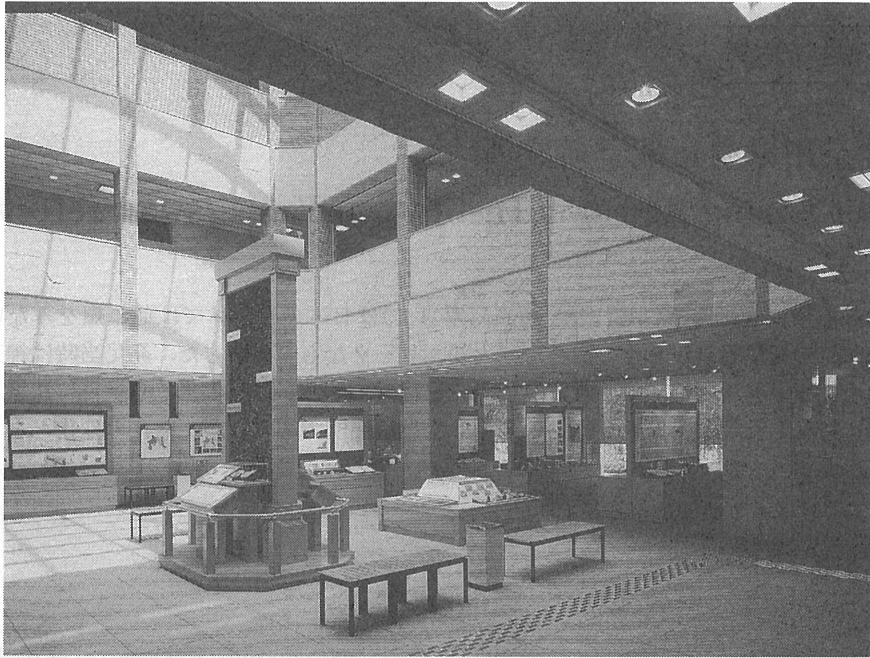


写真2 研究所1階にある展示コーナー

領域が、温泉から地震や地下水へと広がったため、その名称をこの温泉地学研究所へと改めた経緯がある。

当研究所は温泉や火山で有名な箱根という大きなフィールドをかかえ、またその入り口に位置し、さらに、隣接して同じく県立の施設である生命の星地球博物館があり、名実ともに地球科学の一大研究施設となっている。現在の庁舎は県の試験研究機関再編の一環として、平成7年3月に隣接の博物館とともに開設された新しいもので、3階建ての建物の中には外来の方に研究所の内容がよく理解できるように配慮されている展示室(1階、写真2)や研究室(2、3階)が機能的に配置されている。

研究所の構成は図1のようになっており、また、現在の研究部門は、1)地震・火山、2)地下水、3)環境地質、4)温泉・地球化学の4つの大きな研究テーマより構成されている。従来から行われてきた箱根およびその周辺を主にした温泉の成因や循環機構を解明するための研究、ならびに温泉の成分等のモニタリングを行うことによるその資源保護および有効利用を考え、さらに近年では質量分析装置を用いて、地球化学的な考察も行っている。また、近年重要視されている神奈川県西部地震に関する研究や箱根地区の火山性地震の観測を行い、そこで得られた様々なデータを総合的に分析・判断し、地震予知につなげるという重要な任務を背負っている。また、一方では地下水の汚染を調査し、安全な地下水を質的に保全するため、その対策等に努力している。さらに、火山の機構などの地球上における様々な自然現象を解明するための研究を行い、先の温泉や地下水の問題とあわせた総合的な環境保全を大きな研究テーマとしている。このようなことから、研究所の建物も周囲の環境

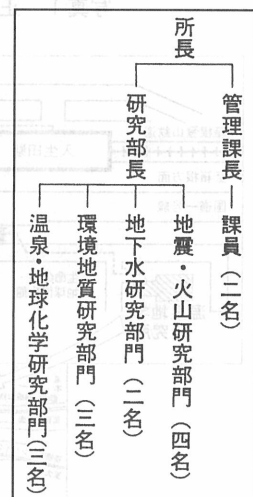


図1 研究所内組織図

を考慮した建築が施されており、研究廃水処理や緑地の保全にも努力されていることもここに記しておく。

この温泉地学研究所は先にも述べたように、全国的にみて非常にユニークな存在で、我々人間が、今後21世紀に向けて考えるべき環境問題に関し、これら4つの大きなテーマを多角的にとらえ、地球にやさしい環境をめざした総合的地球科学の確立に日夜努力されている研究所である。現在までの多大なる業績を十分に生かし、今後も神奈川県西部域ならびにその周辺を中心とした環境地学的課題に積極的に取り組み、研究所がさらに発展されることを期待しております。

東邦大学医学部生物学研究室

杉平 森 賢 司  
この温泉地学研究所は先にも述べたように、全国的にみて非常にユニークな存在で、我々人間が、今後21世紀に向けて考えるべき環境問題に関し、これら4つの大きなテーマを多角的にとらえ、地球にやさしい環境をめざした総合的地球科学の確立に日夜努力されている研究所である。現在までの多大なる業績を十分に生かし、今後も神奈川県西部域ならびにその周辺を中心とした環境地学的課題に積極的に取り組み、研究所がさらに発展されることを期待しております。

神奈川県立温泉地学研究所  
大 山 玉 琳